

平成28年度 滋賀県工業技術総合センター 研究成果報告会

日時 平成28年11月18日(金) 10:00-11:45

場所 工業技術総合センター 大研修室

- | | | | |
|-------|-------|--|-----------------------|
| 10:00 | 挨拶 | 所長 | |
| 10:05 | 案内 | 一般公開、発明協会の案内 | |
| 10:10 | 研究報告1 | 流体解析による
バルブキャビテーション低減性能の評価 | 機械システム係
主任専門員 深尾典久 |
| | 概要 | バルブのキャビテーション低減性能を評価する手法を提案するとともに、パタフライバルブを用いた流体解析により有効性を確認した。 | |
| 10:25 | 研究報告2 | 和紙とエレクトロニクスの融合による
新商品創出に関する研究 | 電子システム係
専門員 山下誠児 |
| | 概要 | スマートフォンのディスプレイを薄い和紙で覆い、透過したほのかで柔らかい光より癒しを提供できる照明器具を開発した。 | |
| 10:40 | 研究報告3 | 薄膜形状の緑色発光体
および粉末赤色蛍光材料原料の創製 | セラミック材料係
主査 山本和弘 |
| | 概要 | ゲルマン酸塩をホスト原料、マンガンを発光ドーパントとして、緑色および赤色の蛍光材料をゾルゲル法により作製した。緑色発光材料については薄膜化し、電界発光(EL)を確認した。 | |
| 10:55 | 休憩 | | |
| 11:00 | 研究報告4 | 清酒製造における
酒母(しゅぼ)の安定製造法の開発 | 有機材料係
専門員 岡田俊樹 |
| | 概要 | 清酒製造で酵母の大量培養に乳酸菌を自然界から寄せ付け利用し、アルコール発酵酵母を醸成する製法があります。製造過程から分離した乳酸菌を利用した製造方法を紹介します。 | |
| 11:15 | 研究報告5 | 低膨張セラミックスの開発研究 | セラミック材料係
主任技師 三浦拓巳 |
| | 概要 | ゼロ膨張を目指したリチア(Li ₂ O)系セラミックスの調整とその特性評価について紹介します。 | |
| 11:30 | 研究報告6 | 信楽焼の特性を活かした坪庭用資材の開発 | 陶磁器デザイン係
主任主査 高畑宏亮 |
| | 概要 | 信楽焼産地が得意とする屋外用陶器とこれまでに試験場で開発してきた多孔質・透光性陶器の技術を活用し、和文化の国際化や都市部での利用などを視野に入れた坪庭用陶器製品の試作開発を紹介します。 | |
| 11:45 | 終了 | | |